

京都府感染症対策委員会開催結果報告書

1 開催日時

平成 31 年 3 月 1 日（金） 14：00～16：00

2 開催場所

京都ガーデンパレス「祇園」

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 内 容

(1) 開 会

あいさつ及び出席者紹介

(2) 議 題（議事進行：藤田 直久 委員長）

【報告事項】

- 感染症対策について
- エイズ等性感染症対策について
- 結核対策について
- 肝炎対策について

【主な意見・質疑等】

<感染症対策について>

- ・府では、学校等欠席者・感染症情報システムを平成 30 年度から導入したが、どの程度の利用状況か。
→平成 30 年 6 月時点で未入力が目立ったため研修会を実施し、現時点では府内の公立学校については 8 割程度と高い。幼稚園、保育所については、少し入力率が下がる。
- ・A 型肝炎については、MSM の間で流行しており、当院で診療している患者においても同様の状況である。留意が必要である。
- ・骨髄移植等で免疫を失った子どもへの予防接種再接種について助成制度を設けたこ

とは良いことである。できれば成人についても検討してほしい。

- ・ダニ媒介感染症は、SFTS だけでなく日本紅斑熱などもあり、府内での発生地が南下している印象がある。また、SFTS はなかなか有効な薬がない。そういう部分を含めて啓発することが必要と考える。

<エイズ等性感染症対策について>

- ・予防啓発のところで、ボランティアネットワークの参加者数や、中、高校への予防教育が減少してきていることが心配である。
→保健所では、予防教育だけでなく、学校独自に実施できるように、啓発資材等の紹介も実施している。実施数が減っているよりも実施校に偏りがあることに問題があると考えており、教育委員会とも協力しながらニーズを整理して、必要としているところには積極的に入っていききたい。

<結核対策について>

- ・施設等での集団発生が懸念される場合は、初発患者を発見した段階で幅広く IGRA 検査を行うとともに、感染の可能性がある人には予防投薬を検討すると良いのではないか。

<肝炎対策について>

- ・委託医療機関では、ほかの疾病の診察のために来院した人が、肝炎のみ無料で検査を受けることはできるのか。(大野委員)
→問題ない。事前に予約が必要な医療機関もあるが、受検から結果説明まで無料。委託医療機関で検査をした場合は、患者からの費用の徴収はなく、検査後に京都府から医療機関へ委託料として支払をしている。
- ・C型肝炎で対象は、中高年のみか。(大野委員)
→医療費助成受給者のほとんどの人が40代以上ではあるが、若年についても、ピアス穴あけ器や注射器の共有等の感染リスクもあるので、検査対象の年齢制限は設けていない。